

安全衛生情報たかやま(H29.1月号)

労働災害による死傷者数 (H28.12月末現在)

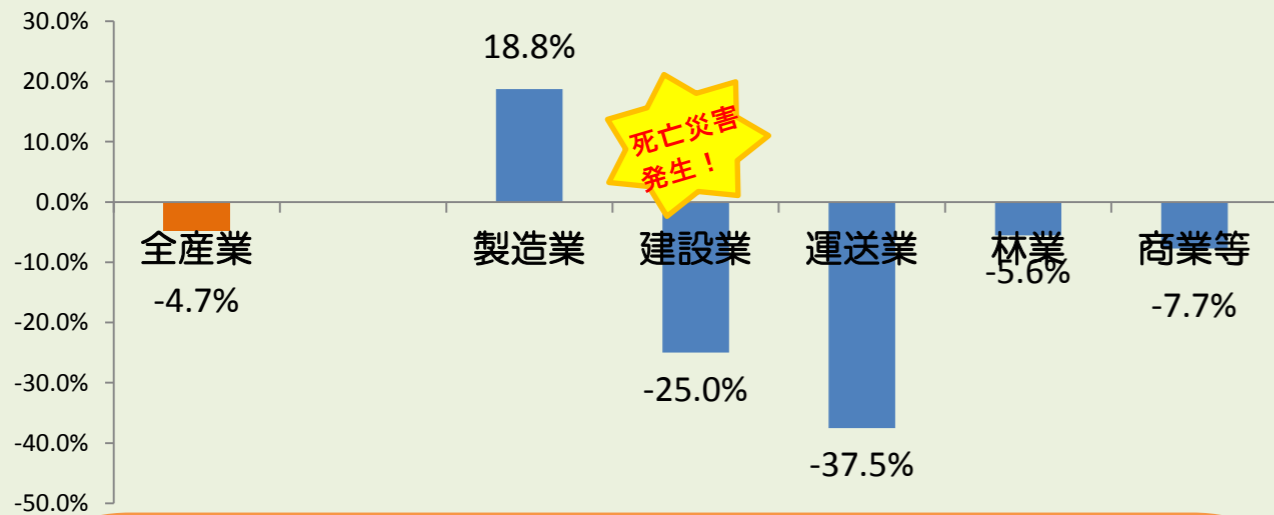
全産業

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 増減率
死亡者数	2人	5人	-3人	-60.0%
死傷者数	143人	150人	-7人	-4.7%

主要業種の死傷者数 (詳細は、別途死傷災害発生状況をご覧ください)

	平成28年	平成27年	対前年比 増減数	対前年比 死傷者増減率
製造業	38	(1) 32	-(1) 6	18.8%
建設業	(2) 21	(2) 28	(0) -7	-25.0%
運送業	10	(1) 16	-(1) -6	-37.5%
林業	17	(1) 18	-(1) -1	-5.6%
商業等	48	52	-4	-7.7%

※労働者死傷病報告による休業4日以上死傷者数です。なお、()は死亡者数で内数です。



〔最近の労働災害に関するコメント〕

全産業における労働災害は、前年同期に比べて7件(4.7%)減少しましたが、12月に死亡災害が1件発生しました。

業種別に見ると、運送業が6件(37.5%)減と大幅に減少しています。しかしながら、製造業については6件(18.8%)増となっており、建設業は7件(25.0%)減となっているものの、12月に死亡災害が1件発生し、本年2件目の死亡災害となりました。

災害事例 機械の修理作業中に、はさまれる。

業種	機械器具製造業	災害の程度	死亡
事故の型	はさまれ・巻き込まれ	起因物	旋盤
災害発生状況		災害発生原因	
マシニングセンタの検査において異音を確認されたため、当該機械の操作盤で労働者1名が機械を動作させ、同機械背面側で被災者が異音の発生場所等を調べていたところ、背面側内部で動作する機械と本体カバーとの間に被災者が挟まれたもの。		・操作者は機械の反対側で作業しており、死角での作業であった。	
概略図			
再発防止対策等			
・共同作業を行う場合において機械を動作させるときは、機械との接触防止対策や機械運転時の合図を確実にすること。			
【コメント】 機械の掃除、給油、検査、修理又は調整など非常作業時における労働災害は非常に多く発生しています。十分な安全対策を施してから、作業しましょう。			

※災害発生状況は同種災害防止の見地から編集を加えており、原因・対策は代表的な事項を記載しています。

お知らせ

ストレスチェック制度は導入していますか？

「メンタルヘルス不調を未然に防止しましょう」

平成27年12月から、毎年1回、ストレスチェックを実施することが義務化されました。

労働者50名以上の事業場は、平成27年12月1日から平成28年11月30日までの間に、ストレスチェックを実施する必要があります。

また、実施後、結果を所轄監督署に提出する必要があります。

結果が未提出の事業場は、早めの提出をお願いします。

労働者50名未満の事業場では努力義務ですが、職場からメンタルヘルス不調者を出さないために、積極的に導入しましょう。